

## 「思い切り世界で自分らしく」の感想

### 【担任】

・今日は貴重なお話をありがとうございました。私が今日の話から強く思ったことが二点あります。一点目は、「様々な考えを受け入れること」です。これは、サンディエゴに行き、授業を見たときも強く感じました。サンディエゴの先生は、児童の解答が間違っていたとしても「おもしろい考えだね。」「いいね。」という風にまず認めてくれました。普段の私の授業を振り返ってみると、正しい解答ばかりを認め、賞賛していることが多くありました。日本の学校は、同じ日本人同士で学ぶことが多く、さらに、人と違うことを言うと白い目で見られてしまう風潮が根強くあるように感じます。そこを私たち教師が小さいうちから、どんな考えも認め自分の考えを言いやすい環境をつくっていかなければならないと思いました。二つ目は、「人間性」についてです。年や性別、国籍など違った人だけではなく、様々な人と関わる際に必要なものは、人間性（心）だと思いました。人が生きていく上で、決して一人だけでは生きていきません。必ず人と関わっていかねばなりません。そこで高めていかねばならないことは、心の豊かさと心の強さだと思いました。だからこそ、私自身も心を磨き、児童の心も磨く手伝いをしていきたいと思いました。

### 【児童】

・僕は、湯澤先生が言っていたことで印象に残った所は三つあります。一つ目は、相手の意見を聞くということです。自分の意見に取り入れることができることを学びました。二つ目は、聞いたことに対して質問をするということです。質問をするということは、自分の意見をもつという意味でその大切さも分かりました。三つ目は、最後に話していただいたどういう人間になりたいかということです。この三つのことがとても印象に残りました。

・今日の国際人をめざす会で、僕は、外国の人や知らない人とコミュニケーションをとれるようになりたいと思いました。理由は、湯澤先生のように外国へ行くことになったときに困らないようにしたいからです。外国へ行ったときに日本語をしゃべれる人は少ないと思います。そこでたとえ英語があまりできなくてもコミュニケーションがとれればいいと話してくださったので、僕はそこで英語ができなくてもコミュニケーションがとれれば世界各国へ行っても暮らせたり、いろんな人と話せたりして人生がよりよくなっていくのかなと思いました。もし、外国へ行くことになったら今日のことを思い出してみようと思いました。

・日本は、ティッシュやハンカチも普段から持っていて清潔だということ、アメリカや他の国では、社長よりも良い考えをもっている人についていくということ、そして、外国のお寺や神社には、警察がいるのに日本では警察は全くなく日本人はちゃんと順番でならんでいること、日本の料理はおいしいということ、日本は、地面にごみが落ちていないということを教えてもらいました。

・ぼくは、湯澤先生のお話を聞いて「何になりたいか？」と同時に「どういう人になりたいか？」を大事にしようというところが印象に残りました。僕は、夢をもっています。その夢は有名な人になることです。でも、今日の話聞いてぼくは有名な人になれる第一歩も踏み出していないと気付きました。有名な人は、勉強を熱心にやっていることと、発表をしっかりとすることが分かりました。ぼくは、授業中で手を挙げるのが怖いです。みんなの前で発表も話すのも勇気が出さなくて怖いと思いました。発表する前日は家で練習していきました。でも発表の日は、練習と違ってみんなが見ているから、発表で勇気が出せなくて声が小さくなって結局うまくできなかった。ぼくは、この失敗を通して、次の発表をがんばって第一歩を踏み出してみたい・

・自分はイギリスのイングランドに行きたかったから、外国に出た時にどんな仕事でどういう事をした方が良いのか分かりました。また、自分の意見の大切さがどれだけ外国の人がほしがっているかが分かりました。他にも日本の良い所とアメリカや中国などと比べて悪いところも分かりました。良い所は、安全で親切などです。悪いところは、学校や会社でほとんど日本人しかいないから情報（外国人の意見）が分からないということです。そこで、日本人はきちんとしすぎているから自分から何かを言うことが外国の人と比べて少ないと思いました。これから、自分は湯澤先生の話聞いて自分の意見を大切にしていきたいと思いました。また、他の人の意見と自分の意見を組み合わせて何かを言うということも大切にしたいです。

・今日は、お話を聞かせていただき、ありがとうございました。私は、最初どんな人になりたいかというときに、英語をしゃべれて外国人と交流できる人かと思っていましたが、外国人とふつうに交流するのではなく「爽やかで、優しく、逃げず、あきらめない」人だということにあらためて気付かされました。また、自然のことについて話してくれた時に、小さい虫でもちゃんと生きているからみんなと同じ命だから大切にしていけないといけないということに気付かされました。そして、日本は今、元気がないのを改善するためには、外国の人たちがやっていることをまねして、日本も外国のように成長できるようになってほしいです。今日、お話しいただいたことを今後に生かしてよりよい社会にいつかしたいです。

・湯澤先生の話聞いて、思った事は、私は他国の人たちと話し、学び、分かり合い、遊んだりすることができるのが当たり前だと思えるような人になりたいなと思いました。そして、湯澤先生が「日本は、秩序正しい」と言っていました。日本人の私はそれを聞いて

『うれしいな』と思いました。この言葉からもっともっと他国の人感想や不安な事などを聞きたいと思いました。他国の人気持ちを聞けばこの日本はどの国の人も安心して来られるようになれると思ったからです。今日は、本当にありがとうございました。

・私は、今日、湯澤先生のお話を聞いて、一番心に残ったのは「外国の会社で、日本人がどんな人がほしいですか？と聞いた時に、前向きで頑張っている人と言って、決して英語のできる人や頭の良い人と言わなかった」という話です。私は、英語ができる人や頭の良い人が会社に入ったほうが良いと思っていましたが、確かに前向きな人が入った方がその会社はよくなるなと思いました。また、自分の意見をもつには、いつも「なぜ？」と考えたり、相手の意見をよく聞くように心がけたり、分からない場合は必ず質問をする事が大切だという事も初めて知ったので次からは、このような事を大切にしていこうと思いました。英語は大事。だけど話す人柄はもっと大事。学校の成績とはあまり関係ないということをもっと心がけていきたいなと思いました。この事以外も心がけていこうと思いました。

・今日の先生の話聞いてとてもびっくりしました。なぜなら、私は日本と外国はつながっているようでビジネスなどの面ではつながれていない所もあるというところ。また、日本人は、世界の人よりもコミュニケーション能力が低いという所もびっくりしました。今の学校生活でしているコミュニケーションだけでは、自分たちが社会に出ても外国の足元にも及ばないことが分かりました。これから、たくさんのなぜ？や自分の言葉で発表する力をもっと身に付けたいです。

・湯澤先生のお話を聞いて、ぼくはこう思いました。さわやかさ、あきらめない、前向きにと湯澤先生は言っていました。その言葉でぼくは、さわやかさ、あきらめない前向きにということをもっと心がけていきたいとぼくは思いました。そして、湯澤先生は、こう言っていました。さわやかさ、あきらめない、前向きにという言葉をつけ足しても良いよと言いました。だからぼくは自分なりに考えて付けたしました。その言葉に「やさしさ」を入れたいと思いました。そして、僕はその4つの言葉を心がけていきたいです。今日はいろんなことを教えてくださりありがとうございました。

・私は、クラスでは発表する方だと思います。だけど振り返ってみると聞く事があまりできていません。なので、湯澤先生のお話を聞いてみて「人の話をより聞いて発表しよう」というふうに思いました。そして、私は「信頼される人」になりたいです。普段の生活では、頼りがないかなと思われあまりたくさんの人と話せません。などで、さっきのように自分の行動を改めたいと思いました。でも、夢をもつのは大切なのでしょうか？世の中には、たくさんの方がいて大切な考えがあります。その中で一つ決めるのは、私だったら反対します。だって、せつかくたくさんの方がいるのに使われないのは私だったら嫌だからです。そして、新しい国などの人と関わる事でアメリカのように新しいものが生まれるかもしれないからです。夢がない人が生きていけないわけではないから、夢がない人がいたら「大丈夫だよ。」と言ってあげたいです。貴重なお話をありがとうございました。

・私は、あまり自分の意見を言ったり、質問等を言ったりしたことがないので、どんなに自分の意見を他人に伝えることが大切なのか学べました。他にも、昔（江戸時代）の日本人は外国人に「礼儀正しく、心がけが素晴らしい」というようにほめられていたことを知ると少しうれしいけれど、今の時代に比べると少し悲しくなってきます。最後に、このような話を聞いて、あきらめないで、前向きでいることの大切さや相手の意見を聞くことの大切さ、質問することの大切さを感じました。上手に話せなくても、まず、聞くことを大切にしていきたいです。これからの社会に生かしたいです。

・今日私は、日本は他の国よりも外国に行ったりする人が少ないことを知って、日本はあまり新しい考えがなかったり少なかったりすることが分かりました。なので、私は湯澤先生に話してもらったおかげで、留学したいと思う気持ちが大きくなりました。もし、留学したら、今までにないような考えを日本に持ち帰りたいです。他にも、海外の人たちは頭がよい人や英語ができる人よりも、前向きであきらめない人の方が良いと言っていて、私は前向きであきらめない人になりたいと思いました。そんな人がいたら、その人を目標にがんばりたいです。今日は今までに聞いたことがないことがいっぱい知れて良かったです。

・私は、湯澤先生の話聞いて「たしかにそうだなあー」と感じるものがたくさんありました。日本は世界の中でもトップクラスで礼儀正しく、心がけが素晴らしいのはずっと分かっていたのですが、日本が勉強熱心なのと、とても安全だということは今回初めて聞き、驚きました。そして、日本と世界各国の教育の違いに一番驚き、初めて知ったことが盛りだくさんありました。外国では、みんなよく質問し、自分の意見をいつでも伝えられるようになっていて、自分があまり質問しないしあまり発言しないので、外国では世界で活躍できるように教育していることがとてもすごいと思いました。日本の現在の問題も知り、自分が将来「どういう人になりたいのか」ということについて「爽やかで、優しく、逃げずに、諦めない」人間になっていきたいです。そして、日本の未来、世界の未来をよりよくしていきたいです。本日はわざわざ来ていただきありがとうございました。

・湯澤先生のお話を聞いて、自分が言いたいことを言うだけではなく、人の話をちゃんと聞き、自分の考えをもって話すことが大切だと思いました。外国に行った時は、堂々として「立派」で、礼儀正しく、自分の考えを取り入れ、おもしろい話をして、外国の人に好かれ「爽やかで、優しく、逃げず、諦めない」心を大人まで持ち続け、今日ならったことを生かしていきたいです。

・今日、ぼくは湯澤先生から様々なことを学びました。例えば、物事をすぐに諦めて次のことをするというのではなく、諦めずに成功するまでやらないと成功しないということ学びました。だから、ぼくはすぐに諦めずポジティブに生きたいです。また、失敗したとしても、諦めないことを意識して物事をやりとげたいと思いました。でも、本当にできないときは諦めても良いと思います。

・湯澤先生は、人口が減るから外国とのビジネスで稼がないと日本はやっていけないと言

っていました。湯澤先生から、どういう人になりたいか紹介してもらいました。「爽やかで優しく逃げず諦めない」というのを紹介してもらいました。私は、人に優しく、諦めず、最後までやりきりたいと思いました。今日は、お忙しい中5年2組に来てくださりありがとうございました。私は、今日教わったことを生活でいかしたいと思いました。

・今日、湯澤先生の話聞いて日本は外国と比べて平和な国ということと日本は7年間世界一のお金をもっていたことを初めて知りました。それと日本は外国からの評判がすごく良いことを知りました。この話を聞いて僕も礼儀が良くてあいさつもはっきりできるそういう人間になっていき自分の考えもしっかりみんなに伝えて質問などをたくさんしていきたいです。今後今日の湯澤先生の話聞いたことをいかしていきたいです。

・僕が今日聞いてみて分かったことがあります。僕は頭が良い人や英語ができる人が外国に行ったり勉強したりするのかと思っていたけど、違っていました。英語ができなくても一生懸命頑張れば行けることが分かりました。あと、爽やかな人について考えてみました。自分が思うには、優しくて言いたいことは言って、だめなことはだめと言える人だと思います。僕は、そのような人になりたいと思いました。すごく勉強になりました。

・私は、自分の意見を大切にしようと思いました。そして、分からないことは質問して、それを知識としてもてるようにしたいです。外国は、銀行に行きお金を持ち車に行くまで緊張すると言っていました。日本ではないことだと思います。なので、私は改めて日本は安全だと思います。日本の人はきちんとしていると言っていました。なので、私はまず、話の聞き方、あいさつなどの礼儀をしっかりできる人になりたいです。そこから強い心をもった人になりたいという目標をたてようと思いました。話を聞いて、私は外国より日本の違いや考えてもいなかった日本のすばらしさを知れて良かったです。

・私は湯澤先生のお話を聞いて、日本だけが世界なのではなく、まだまだ国はたくさんあるからいろいろな場所に行ってみたいと思いました。国が大きくなるということは、ビジネスが活発で国同士の貿易が大切だと知りました。私は今まで、自分の考えを発言することが苦手でした。でも、このお話を聞いて、自分の考えをしっかり伝えられる人になりたいです。「外国人とともに」『学び、暮らし、ビジネスをする』ことが大切なのだと思います。「日本人だけ」ではなく「外国人、他の国の」、自分の知識だけではなく、多くの人意見や考えを聞いて、取り入れていくことが大事だと私は思いました。

・まず、自分の意見が大切と言っていました。日本人はお金持ちになったけど意見がうまく言えないのが原因で、うまくいかなかったことがあるそうです。外国の学校では、あなたはどう思う？あなたはどうか？と聞かれたら、自分の意見を言うそうです。自分の意見なら思ったことを言うことが大切だそうです。そして、私は、このことを聞いてから自分の意見を大人になるまで言えるような人になりたいと思いました。

・私は、湯澤先生のお話を聞いて、日本は私が思っているのと全然違うことを知りました。そして、私は今日聞いた話の中で心に残ったことがあります。それは、しっかりと自分の

意見をもつことです。外国では、みんな自分の意見をしっかりもっていることを知り、私もこれからは、自分の意見をもちたいと思いました。そしていつも何を言われても「なぜだろう」と考えることも大切ということも知りました。私はこれまで何を言われても「なぜ？」などあまり考えたことがなかったからです。私もこれからは何事にも「なぜ？」と考えていきたいと思いました。今日は、私が知らないことなどをたくさん知れてとても勉強になりました。これからは、今日学んだことを生かしていきたいと思います。

・湯澤先生の話聞いて、僕が思ったことは、日本が鎖国をしたけど、日本人々が勉強熱心だったため、今では他の国が日本を尊敬する国になったと言っていたのを初めて聞きました。外国では、日本と違って自分から進んで言わなければその話は聞いてもらえなくなってしまうので自分も積極的に話す事を心がけたいです。湯澤先生はいろいろな国に行っていたという事なので、僕も将来、湯澤先生みたいに海外の国ともかかわってみたいなどと改めて思いました。

以上 24 名